

## 令和4年度 第1回技術部会 (C3)

C3 8月11日(木) 全国高等学校体育連盟体操専門部

==== 審議事項=====

1. 令和4年度 高校適用規則(競技規則、採点規則)の確認
2. 令和5年度 全国高校総体(北海道)大会実施要項について
3. 令和4年度 全国高校選抜(三重・静岡)大会実施要項について
4. 令和5年度 全国高校選抜(埼玉)大会実施要項について
5. 令和4年度 全国高校選抜大会(三重・静岡)の選考方法について
6. その他
  - (1) 継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等

==== 審議結果=====

1. 令和4年度 競技規則・採点規則の全国高校適用について
  - ・令和4年度以降の用具の確認

	全国高校総体			全国高校選抜				
	手 具		開催地	手 具				開催地
令和4(2022)年度	クラブ	スティック	香川	スティック	リング	ロープ	クラブ	静岡
令和5(2023)年度	スティック	リング	北海道	スティック	リング	ロープ	クラブ	埼玉
令和6(2024)年度	リング	ロープ	福岡	スティック	リング	ロープ	クラブ	香川
令和7(2025)年度	ロープ	クラブ		スティック	リング	ロープ	クラブ	

- ・高校適用規則について

※インターハイの状況もみて、第2回技術部会で令和5年度の適用規則を決定する。

※「伏臥着地」について、負傷等の報告等、資料を作成して総合的に検討したい。

高体連としては、怪我を防止するという観点からも検討する。各ブロックに持ち帰り、意見を聴取した上で協議する。

2. 令和5年度 全国高校総体(北海道)大会実施要項について
  - 割当練習の方法が例年と違う。(練習会場→本会場、サブ会場→本会場)平等性が担保できるのであれば事務局案を了承する。
  - 技術部員が監督の場合、技術部会に参加できるように割当練習の時間を配慮して計画をする。
3. 令和4年度 全国高校選抜(三重・静岡)大会実施要項について
  - 委員総会(常任委員会)の承認が得られれば、新体操男子個人出場枠について全国高校総体成績上位5名に配分だったものを1名増の6名に変更。(個人参加者数21名→22名)
  - 選抜大会時の監督会議については、感染状況にもよるが実施しない予定。
4. 令和5年度 全国高校選抜(埼玉)大会実施要項について
  - 開催地の意向も考慮し、ゆかフロアはタイシャン製の使用を、技術部としては了承する。
5. 令和4年度 全国高校選抜(三重・静岡)大会の選考方法について
  - 変更なし。
6. その他(継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等)
  - (1) 全国高校総体団体競技補充枠の決定について
    - ・決定までの経緯を変更し、透明性を高くする。(選考方法についても公表していくものとする)
    - ・優先順位は、第2回の技術部会報告で公表するが、実際の配分はブロック大会後に該当校に連絡する。
    - ・補充枠が得点0点のチームに配分される可能性もあるが、得点として記録がある以上、補充枠に該当することについて妨げないが、必ずしも出場しなければならないということではない。

- ・令和5年度以降、技術部員で年度初めに登録校調査を実施して、各校の活動状況等の把握に努めることとする。
- (2) 2022年版規則の運用課題（各ブロック大会の状況から）
- ・新ルールに選手や審判が対応できていない面はあるようだが、今後対応していくものと考えている。
  - ・競技歴の浅い選手の得点がほとんど出ないのは悩ましいところである。
  - ・構成審判を採点項目によって分ける等は現行ルールからすると難しいだろうが、構成の審判が苦慮する場面が見られた。
- (3) 全国総体の練習会場について
- ・インターハイの練習会場の数については、今後の大会開催者側にとっても大きな課題であり、これまでもご苦勞いただいております、公式練習を2日間十分にとれていることから鑑みても、練習会場の設置の有無について検討する時期にきていると思われる。
- (4) その他
- ・公認指導者の取得の状況について、選手がいるにも関わらず取得者がいない県もある。
  - ・高体連主催大会での5人団体実施については、大会規模や参加者数等、大きな変化となるので、専門部等とその是非を確認しながら進める必要がある。また、体操協会主催大会との関連もあるので、関係団体との協議も十分に行っていく必要がある。
- (5) （公財）日本体操協会男子新体操委員会より
- ・普及調査のアンケートについて確認いただき回答をお願いしたい。（協会を通じて照会済）
  - ・国スポの復活について5人団体の変更規則等の課題があれば意見をいただきたい。
  - ・公認指導者資格の取得を進めてもらいたい。
  - ・2022年度版の課題について課題があれば意見をいただきたい。
  - ・これまで開催してきたオンライン選手権について今年度以降開催しない。